

27 快適な住まい方を考えよう！

～自然を活かして涼しく（暖かく）住むには、どうしたらいいんだろう～

講義担当：こどものためのオープンハウス

（所 管）：建築局建築企画課

年間実施数	1回
講座対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校児童 <input type="checkbox"/> 中学校生徒 <input type="checkbox"/> 放課後児童育成施設利用児童 <input type="checkbox"/> 高校生徒 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 地域一般
対応曜日、時間	月～金曜日 9時～17時
授業活用例	小5～6年（要相談）小学校5～6年家庭科「快適な住まい方を考えよう」
講座実施方法 （ ）は場所等	<input checked="" type="checkbox"/> 講義（屋内：パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等） <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ（涼しいところ、暑いところ探し。熱の移動の実験等）
講座所要時間	45分～90分
準備する道具、条件	学んだことを、その先にどう発展させるのかなど、事前に打ち合わせをし、それに向けて対応したいと思います。 説明はパワーポイントで行いますが、設備がなくても対応は可能です。 実験に使用する計測機器（放射温度計）などは、こちらで用意します。 ※時間や内容、お気軽にご相談ください。

内 容

温かさや涼しさなどは、体感によって培われていく感覚です。

住まいや身近な環境に対する本来の感覚は、子どもの頃から体感していくことで育まれます。

この授業では、意識して体感し、その後計測することで理解を深めます。本当に快適な環境づくりの基本を学び、行動につなげるための授業です。



※夏バージョンの例です。

<導 入>

<展開1>涼しいところはどんなところ？

- ・涼しいところ、暑いところを探し、涼しさ暑さを実感する。
- ・体感と計測で、その違いとその理由を学ぶ。

<展開2>自分自身を涼しくする方法を考えてみよう。

<展開3>家を涼しくする工夫を考える。

- 家を涼しくするためのポイントを実験や映像で確認する。
- 家を涼しく工夫について、実例から学ぶ。



<展開4>工夫のある家と工夫のない家の模型による実験で性能を比較し てみよう！

<まとめ>

※同じ様な流れで冬バージョンもあります。

連絡先：横浜市建築局建築企画課

電話：045-671-4526、メール：kc-casbee@city.yokohama.jp